

【礼拝賛美】御手の中

1

すべては変わる贊美
すべては変わる贊美
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの御手の中で

2

御手の中で
すべては変わる感謝に
わがゆく道に あらわしましたまえ
あなたの御手のわざを

■宣教師へのクリスマスカード

これまでに50名ほどの兄弟姉妹がサイ
ンをしてくださいました。感謝します。
本日で締め切ります。まだの方はぜひ
お名前をお寄せください。

【お知らせ】

■児童祝福式

11月17日（日）第2礼拝

現在1名の希望があります。

ご希望の方は、お申し込みください。
29章12、13節

【お知らせ】

■児童祝福式

11月17日（日）第2礼拝

現在1名の希望があります。

ご希望の方は、お申し込みください。
29章12、13節

【お祈りください】

■オールシンオン青年キャンプ

11月1日（金）～4日（月休）

会場 奥多摩バイブルシャレー

講師 池淵亮介師（KGK主事）

日本フリー・メソジスト教団

テーマ「私と神様の働き方改革」

・林伝道師はキャンプリーダーを務めて
います。お祈りください。
・荻野牧師は、金土と2日間の参加です

「あなたがたがわたしに呼びかけ、来て、わたしに祈るなら、わたしはあなたがたに心を傾ける。あなたがたがわたしを探し求めるとき、心を尽くしてわたしを求めるなら、わたしを見つける。」（エホニア書29章12、13節）

先日、息子が通う高校の保護者会に出席しました。校長の話で心に残ったのは、子どもたちが成長して自立するために必要なことは何かということです。

2022年から日本は成人年齢が18歳になりました。今は多くの若者が高校3年生で成人です。校長は、高校教師たちが抱く不安をお話してくださいました。成人した高3生が、親の同意なしに高校を退学したり、クレジットカードを作つてローンを組めるようになつたのです。悪い大人の食べ物にされたり、人生の歯車を狂わせないかを心配しているわけです。子どもたちが健全に成長し、自分で物事を判断する能力を身に着けるために必要なこと、それは子どもたち自身が様々なことにチャレンジし、小さな失敗を積み重ねながら何が正しいかを経験的に知ることだといいます。そのため

に、大人はそれを見守ることが求められている

とも校長は仰いました。

親や大人が無関心であつてはいけませんが、

先回りをしてお膳立てをして手をかけすぎる

ことは人の成長を妨げます。

信仰生活も同じです。人は時々、神様が私たちを助けてくださらないように感じることがあります。けれどもそれは、神が私たちを

あるもので。けれどもそれは、神が私たちを無視しているわけではなく、私たちが人生経験を積み上げて成長し自立することを見守つてお

られるのです。

イスラエルは神への背信という失敗をして、異国バビロンに捕らえ移されるというつらい経験をしました（バビロン捕囚）。神は、その経験をイスラエルを痛めつけるためなく、彼らがつらい出来事から学び成長するための機会とされました。

ここで大切なことは、失敗やツラい経験から「学ぶ」ということです。自分を振り返ることで出来事が人を成長させるのではなく、そこから学ぶ人が成長します。そして学ぶ時に重要なのが考え方や価値観の「軸」です。神は、人が神の祝福の道を生きるために大切な人生の軸を示しました。それが冒頭のみことばです。神を求め、神と共に生きることがその人の人生の軸となる時に、神の平安を得て希望の人的人生の軸となる時に、神の平安を得て希望がある人生を歩む（11）と聖書は告げます。この軸を身に着けるためには相応の時間が必要です。特に、神の民・共同体という単位で見れば、それには二代三代と受け継がれる時間が必要でした（4～7）。結果としてバビロン捕囚の期間に、会堂で礼拝することやみことばに密着した生活が確立され、それは今日に至ります。非常に重要な期間だったのです。私たちも同じです。自らの結果に捕らわれるのではなく、次の世代に信仰を伝えるために、今私たちが何に取り組んだらよいのかを見極めて進んで参りました。（泰）

